

2023! 年暮!

7-12月号

今年早くて12月... 皆まだ1ヶ月がおおじておか? 2023年... 暑くて、暑くて、暑くて、暑い! の思... 出か! (笑)

正直木が自然の流木の前に人間はちいさな存在と痛感する

一度二度はありせんては、だから急激に変わっていく気候にどう対応して

100年、50年技術は地球と人の未来に添っているから、果たして有機稲作に出来る事は何かを毎時考える一年でした。

今年中!! 「地球の未来を考えた天地人の近い有機稲作」の志を記す

今年は11月1日本職を産学を築きながら大歩を歩かせた一年でした。

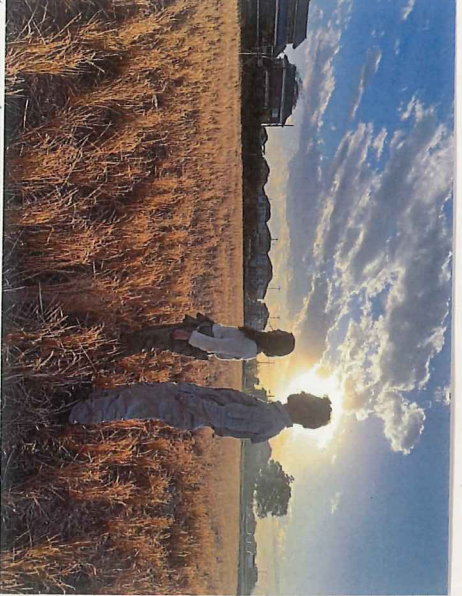
二つの未来は日暮る!! と思えるようになった。有機稲作 素晴らしい学問だ!!

来世もまた、米作の深淵で「す」世界をお米と対話。技術者講習... 皆で

今年も大歩お世話にたい。お礼の言葉をいれたい!! 皆様、佳い年をお迎え下さい!!



11月に上へ植へて冬初の田舎

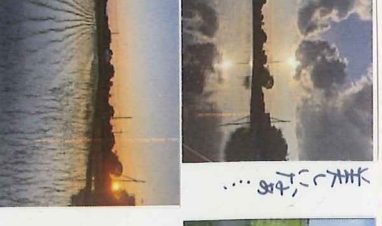


春の育苗 (10月21日)

春の育苗 (10月21日)



毎年、有機農業を通じて行間の輪が、秋から「く」感謝したし、秋一



自家製 米の精製材料

代き... 田舎...

美しさ...

お米と対話...

稲の花!! 米の穂!! 米の穂!! 米の穂!!